2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	人間力概論 (Survey of Human Aptitude)		
ナンバリングコード	A10209	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル 人間力コア科目/キャリア科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 / 前期
必修・選択区分	必修		
授業コード	A030602	クラス名	経営経済学部
担当教員名	高見　大介、杉浦　嘉雄、坂井　美穂、吉村　充功、藪内　聰和		
履修上の注意、履修条件	○本学の教育理念の一つである「人間力の育成」の基礎となる重要な科目です。真剣に受講して下さい。○座席指定制です。ただし、指定された範囲の前方席は自由席です。○授業開始に遅れた場合は遅刻(遅刻席)になります。10分以上遅刻した場合は、出席カードは配布しません(欠席)。○携帯・スマホは許可時以外はカバンにしまうこと。○学部合同講義で受講生が多いため、私語など他の学生の迷惑になる行為は慎んで下さい。守らない場合は、退場を命じます。○ワークシートの提出を求めた回は次回授業の冒頭に集めます。○部活の試合などで欠席する場合は、その回の担当教員に届け出て下さい。認定出席には原則動画視聴が必要です。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	現代社会要論、社会参画入門、社会参画実習1、社会参画応用、社会参画実習2、その他すべての科目		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会に関心を示し、人間として現代社会を力強く生きようとする意欲を身につけている。		20点	
【知識・理解】	社会で求められている人間力が何かを理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	人間として現代社会や地域社会をどう生きるかの自分なりの考えを適切に表現することができる。		30点	
【思考・判断・創造】	人間として現代社会や地域社会をどう生きるかを自分なりに考えることができる。		30点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

○第2回・第3回のワークシートを評価します(10点×2回)。
○3人の担当者毎に課すレポートと最終レポートを評価します。担当者1人20点×3人＋最終レポート20点。
　最終レポートについては、到達目標をもとに採点基準をルーブリックとして第15週の授業で提示します。
○単に出席するだけでは得点になりません。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	本学における教育の特徴は教育理念にも掲げている通り「人間力の育成」にあります。本学の「人間力教育」は社会、地域に出て活躍するために必要な汎用的なスキルや能力、即ち「社会人基礎力」と、実社会で力強く心豊かな人生をおくるための「こころの力」の育成を目指しています。 　「人間力概論」は「自分らしさを見つけ、人間関係を築くための知識とこころの力」をつける最初の導入となる講座です。したがって、人生のベースとなる「生命(いのち)」あるいは「生きる」ということについて、社会や地域との接点から自分の役割を強く意識させ、「人間として現代社会をどう生きるか」を自分なりに考えられるようになることを目的とします。本学卒業までに修得すべき能力の基盤となる力を養います。	
授業の概要	「人間として現代社会をどう生きるか」「よき市民として地域社会をどう生きるか」をその意義や考え方について、各教員が様々な切り口から講義します。学生諸君に「自分らしく生きること」を強く意識させ、さらには大学生活を通じ、そして社会に出てからも「自分らしい生き方」を探究し続けていくためのきっかけとなる講義を目指します。 「クリッカー」をはじめ、双方向型授業を実施する回が多くあります。積極的に参加し、理解を深めて下さい。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「双方向授業」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

○ワークシートについては、原則、翌週以降の授業で返却します。
○本授業の講義風景は動画で録画しています。学内のパソコンからインターネット経由で視聴できます
　(http://moodle.nbu.ac.jp/moodle/)。自主学修に積極的に活用して下さい。
○教員への質問はいつでも受け付けます。その回の担当教員の研究室を訪ねてください。メール、ユニバーサルパスポートからの質問も受け付けます。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： 人間力概論（Survey of Human Aptitude ）　授業コード：A030602
担当教員： 高見　大介、杉浦　嘉雄、坂井　美穂、吉村　充功、藪内　聰和

学修内容

1. スタートアップセミナー

予習： シラバスを熟読してください。人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約2.0h）
復習： シラバスを熟読してください。人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約2.0h）

2. 授業概要説明、担当者紹介、科目意識アンケート実施(吉村、他)
授業の概略を説明します。クリッカーを使用します。

予習： シラバスを熟読してください。人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： 学修内容について復習を行い、ワークシートをまとめてください。（約3.0h）

3. 本学における人間力教育とは（自校教育）（高見、他）
経営経済学部長・学長室から新入生へのメッセージ。本学で伸ばしてほしい人間力などについて講義があります。

予習： 本学の教育理念を調べてください。人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： 学修内容について復習を行い、ワークシートをまとめてください。（約3.0h）

4. EQアセスメント・UPIテスト(吉村、他)
現在の皆さんの人間力（EQ)を客観的に測るnEQアセスメントテストを実施します。また、健康状態などをアンケートするUPIテスト等も合わせて実施します。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約2.0h）
復習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約2.0h）

5. ボランティアと人間力①（高見）
講義テーマ：ボランティアと人間力
1週目－自分を鍛える編
ボランティア学習の観点から、実経験に基づく人間力を構成する力について考えていきます。グローバルに物事を考えていくことは、国内外の文化や歴史を理解することにもつながります。自分の成長に向けて、これからの大学生活の過ごし方を考えるキッカケにします。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

6. ボランティアと人間力②（高見）
2週目－社会に出る編
前週に引き続き、実経験に基づいたこれから身に付けるべき人間力について考えていきます。なぜ学ぶのか、何を学ぶのか、先輩達の人間力育成プロジェクトの紹介を通じて、考えています。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

7.「幸せ」を求めて（高見）
講義テーマ：「幸せ」を求めて　～個人と社会と幸福～
「働く」ことを、単に報酬を得るための手段であると思っている人も多いようです。しかし、「働く」ことは、人間の本質であり、充実した人生は、生き生きと「働く」ことによって可能になると考えることもできます。そこで、この授業では個人と社会と幸福のつながりについて考察します。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

8. 現代社会と人間力①(吉村)
講義テーマ：現代社会と人間力
1週目－いまなぜ人間力か？企業が若者に求めること
現代は予測不可能な社会だと言われています。そのため、学校で習った知識だけを修得しているだけでは社会では活躍ができません。文系学生に求められることに主眼を置いて、現代社会で必要な人間力について理解を深めていきます。クリッカーを使用します。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

○授業計画　科 目 名 ： 人間力概論（Survey of Human Aptitude ）　授業コード：A030602
担当教員： 高見　大介、杉浦　嘉雄、坂井　美穂、吉村　充功、藪内　聰和

学修内容

9. 現代社会と人間力②(吉村)
2週目－先輩達の活躍と大学で学ぶ意義～本学卒業生調査・全国若者調査から見えること～
本学卒業生が身につけている能力・不足する能力を就職先企業アンケートから読み取り、現代の若者に必要な能力を理解します。また、全国調査をもとに、大学へ進んだ意味と社会を力強く生きていくために必要なことを自分の意見として考えていきます。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

10. 地域社会と人間力（吉村）
現代は地方の時代と言われていますが、少子高齢社会が急速に進む地方においては、一人一人の存在が大切になっており、その地域でどのように生きていくか、地域社会とどのように関わっていくか、自分なりの考えを持ち、実際に行動することが重要となっています。地域における学生活動の意義や、地域社会で生きていくために必要な社会との関わり方について理解します。クリッカーを使用します。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

11. “絆”を求めて①（杉浦）
講義テーマ：“絆”を求めて～自然とふるさととのつながり方を考える
1週目－宇宙と自分「宇宙・銀河系・太陽系・地球、そして自分」
「正しく強く生きるとは・銀河系を自らの中に意識して・これに応じて行くことである」宮沢賢治は『農民芸術概論綱要』の中でこのように言っています。人間力とは「正しく強く生きる」力そのものと言ってよいでしょう。ここでは、宮沢賢治に習い、宇宙・銀河系・太陽系・地球・生命圏を自らの中に意識して、自分との関係を体感していきましょう。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

12. “絆”を求めて②（杉浦）
2週目－故郷と自分「自然と共生した故郷とは？」
「…あらゆるものはつながっている。いのちの網を編んだのは人間ではなく、人間はその中の一本の縄にすぎない…」これは、ネイティブ・アメリカンの魅力ある言葉の一節です。自然との共生とは、まさに「人間」も含む多様な生き物たちの「いのちの網」を大切にしながら生きていくことです。この感性を活かした「故郷（ふるさと）づくり」を具体的に紹介することで、「人間力」のキーワード「思いやり・夢・希望・勇気」を考えましょう。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

13. “絆”を求めて③（杉浦）
3週目－自然とふるさととのつながり方をあたらめて考える
2回の講義内容を踏まえて、あらためて自然とふるさととのつながり方、その中での自分の存在をあたらめて考えます。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： レポート課題があります。学修内容について復習を行って下さい。（約3.0h）

14. 人間力の伸ばし方（EQアセスメント解説）（吉村、他）
第4週で実施したEQアセスメントの結果について、読み解き方を解説するとともに、今後の行動計画の立て方について講義します。

予習： 人間力に関する時事を新聞等で調べてください。（約1.0h）
復習： EQアセスメントの結果を踏まえて、今後の行動計画を立てて下さい。（約3.0h）

15. シンポジウム（全員）
全担当者と学生の皆さんがシンポジウム形式で、現代社会で生きる意味について考えます。クリッカーを使用します。

予習： これまでの授業内容を振り返って下さい。（約1.0h）
復習： シンポジウムを踏まえて、最終のレポート課題に取り組んで下さい。（約3.0h）

16.

予習：
復習：